

少年の立ち直りのために

～地域とつながり 地域につなげる～

非行のあった少年たちは、少年鑑別所や少年院での処遇を経て立ち直りを目指します。彼らを取り巻く環境や、抱えている生きづらさにも目を向けつつ、社会がどのように支えていけばよいのか、一緒に考えてみませんか。

共に生き、犯罪や非行のない社会を作っていくために、さまざまな形で少年の立ち直りを支え、見守り、働き掛けを重ねている方々をお招きして、シンポジウムを開催します。

平成28年

入場無料

10月29日 土

13時30分～17時30分

有楽町朝日ホール

千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F

- JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅 中央口または銀座口
 - 東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)銀座駅 C4出口
 - 東京メトロ(有楽町線)有楽町駅 D7出口
- いずれも徒歩1～2分

応募締切

平成28年

10月11日 火 必着

定員

先着順

600名

定員になり次第
締め切らせて
いただきます

プログラム概要

12:30 ■ 開場・受付

13:30 ■ 開会

13:35 ■ 講演「ティーンからのメッセージ～取材現場から～」

家田 荘子氏 (作家・僧侶)

14:15 ■ 講演「自分と未来は変えられる」

高坂 朝人氏 (NPO法人再非行防止サポートセンター愛知理事長)

14:55 ■ 解説「円滑な社会復帰に向けた少年院・少年鑑別所の取組」

富山 聡 (法務省矯正局長)

■ 休憩

15:40 ■ パネルディスカッション「少年の立ち直りを支えるために」

パネリスト

家田 荘子氏 (作家・僧侶)

高坂 朝人氏 (NPO法人再非行防止サポートセンター愛知理事長)

野口 義弘氏 (福岡県協力雇用主会会長)

山田 由紀子氏 (NPO法人対話の会理事長・弁護士)

伊藤 茂樹氏 (駒澤大学教授)

金子 陽子氏 (愛光女子学園長)

コーディネーター 木村 敦 (法務省矯正局少年矯正課長)

17:25 ■ ビデオメッセージ

「立ち直りを支える皆さんへ」

村井 満氏 (Jリーグチェアマン)、ゴルゴ松本氏 (お笑いタレント)

17:30 ■ 閉会

地域とつながり 地域につなげる



主催 再犯防止シンポジウム実行委員会 (法務省・株式会社小学館集英社プロダクション)

後援 (公財) 矯正協会 ほか

プロフィール

講演／パネルディスカッション・パネリスト



いえだ しょうこ
家田 荘子氏
作家・僧侶

愛知県出身。女優など様々な職歴を経て作家となる。1991年、「私を抱いてそしてキスして—エイズ患者と過ごした一年の壮絶記録」で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。2007年、高野山大学において伝法灌頂を受け、僧侶に。高野山高等学校特任講師。著書は、「少女犯罪」など多数。

講演



たかさか あさと
高坂 朝人氏
NPO法人
再非行防止サポートセンター愛知理事長

広島県出身。13歳から24歳までの間に、15回の逮捕、少年院送致、暴力団準構成員等を経験。その後、33歳となった今日まで、福祉の仕事に就きながら、数多くの非行少年の更生を支援。少年院や大学等での講演も多数。

パネルディスカッション・パネリスト

のぐち よしひろ
野口 義弘氏 福岡県協力雇用主会会長

熊本県出身。1995年、有限会社野口石油を創立し、協力雇用主に登録。約20年にわたり、少年院出業者、保護観察中の少年等、約130人を雇用し、非行少年の社会復帰を支援。

やまだ ゆきこ
山田 由紀子氏 NPO法人対話の会理事長 / 弁護士

東京都出身。1979年から弁護士として活躍。1993年、千葉県弁護士会副会長。2001年、NPO法人「対話の会」を設立、2006年から理事長。著書は「少年司法と修復的司法」など。

いとう しげき
伊藤 茂樹氏 駒澤大学教授

京都府出身。教育社会学専攻。いじめ、不登校など青少年の問題行動や、矯正教育、出業者の社会復帰について研究。著書、編著に「子どもの自殺の社会学」、「現代日本の少年院教育」など。

かねこ ようこ
金子 陽子氏 愛光女子学園長

埼玉県出身。1981年、愛光女子学園に法務教官として採用後、主に女子少年院や第3種（旧医療）少年院の処遇現場で勤務。榛名女子学園長、名古屋矯正管区第三部長等を歴任。

ビデオメッセージ

「立ち直りを支える皆さんへ」



むらい みつる
村井 満氏 Jリーグチェアマン

Jリーグは、少年の更生を願い、全国各地の少年院においてサッカー指導を実施しており、本年7月にはチェアマンによる講演も行われた。



まつもと
ゴルゴ松本氏 お笑いタレント

2011年から、ボランティアとして少年院の慰問を続けている。「命の授業」と銘打ち、人生訓をわかりやすく説明する。

申込方法 締切以前であっても定員になり次第、締め切らせていただきます。お申し込みいただいた方には、参加の可否をハガキまたはE-mailでご連絡いたします。

1 メールにて申込の場合
kyosei@shopro.co.jpに申込者
情報を送信してください。

2 FAXにて申込の場合
FAX番号03-3515-6881宛に
申込者情報を送付してください。

3 ハガキにて申込の場合 (下記住所に申込者情報を記載のうえご送付ください。)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 SP神保町第2ビル5階
(株)小学館集英社プロダクション内 再犯防止シンポジウム事務局

応募締切

定員

10月11日(火)必着 先着順(600名様)

定員になり次第
締め切らせて
いただきます

再犯防止シンポジウム事務局行 FAX: 03-3515-6881

再犯防止シンポジウム2016 少年の立ち直りのために お申込者情報 (応募締切 10月11日(火)必着)

| | | | |
|-----|--------|----|--|
| 住所 | 所属 | | |
| 氏名 | 年齢 | 性別 | |
| TEL | e-mail | | |

お問い
合わせ先

再犯防止シンポジウム事務局 (株式会社 小学館集英社プロダクション内 担当: 谷・田辺・受田)
TEL番号: 03-3515-6847 (平日10:00~17:00) E-mail: kyosei@shopro.co.jp

*個人情報の取り扱いについて: ご応募いただいた個人情報につきましては、厳重に管理し本シンポジウムの開催・運営についてのみ使用させていただきます。